

## 下水道水質管理システム利用業務の概要について

## 1. 事業場管理

## (1) 概要

公共下水道に排除する下水の水質を管理する必要がある事業場について、届出情報等を基に、事業場に関する以下の情報を台帳管理する。

- ・届出者情報：名称（法人名）、住所、電話番号、代表者名 等
- ・事業場情報：名称、所在地、業種、企業規模、管理担当者・電話番号、下水道法に基づく特定施設の種類の番号、施設分類、監視分類、処理区（処理場・分区・排除先幹線名）、排水処理方法（系統毎）、用水量・排水量（用途別）、公共（最終）ますと下水量、排除方式（分流/合流） 等
- ・採水地点 ：採水場所名称、その他備考 等

## (2) 施設分類

施設分類	概要
A	下水道法第 12 条の 2 が適用される特定事業場
B	A 以外の特定事業場で水質検査が必要な事業場
C	特定事業場以外の事業場で水質検査が必要な事業場（要監視一般事業場）
D	A・B 以外の特定事業場で水質検査の報告徴収のみを行う事業場
T	下水道法第 10 条ただし書を適用して公共下水道に下水を排除する事業場

## (3) 申請種別

No.	届出名称	概要
1	特定施設設置届出	特定施設の新規設置に関する届出
2	特定施設使用届出	既存施設を特定施設として使用する際の届出
3	特定施設の構造変更届出	特定施設に関する事業場情報の変更届出
4	氏名変更等届出	特定施設に関する届出者情報の変更届出
5	特定施設使用廃止届出	特定施設の使用廃止に関する届出
6	承継届出	特定施設の届出者を承継する際の届出（届出者情報の変更）

## 2. 水質検査（計画作成・結果管理）

### （1）概要

各事業場について定める監視分類に基づき、検査計画（立入採水の予定）を作成し、立入採水の水質検査（行政検査）結果及び水質検査報告・水質自主検査報告の結果を管理する。

### （2）監視分類

施設分類	監視分類	対象	立入採水 水質検査	水質自主検査 報告書徴収
A	A1	有害物質若しくは条例項目のうち「アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素」を含むもの又は日平均排水量が 50m <sup>3</sup> 以上であるもの	2 回/年	4 回/年
	A2	洗たく業で有害物質を含み、日平均排水量が 20m <sup>3</sup> 未満であるもの	1 回/年	随時
B	B1	一律環境項目を含むもの	1 回/年	2 回/年
	B2	条例項目のうち、鉱油類を排出しているもの	1 回/年	1 回/年
	B3	B のうち、B1、B2 以外のもの	1 回/年	1 回/年
C	C	施設分類 C の事業場（要監視一般事業場）	1 回/年	随時
D	D	施設分類 D の事業場（報告書徴収のみの事業場）	随時	1 回/年
T	T	施設分類 T の事業場（10 条ただし書適用事業場）	随時	1 回/年

### （3）検査計画（立入採水予定管理）

検査計画は監視分類毎に定める立入採水の周期に基づき、年度末に翌年度の年間予定（対象事業場・回数）を設定する。その後、具体的な立入日が決定した時点で週間予定を登録し、「採水予定表（週間）」及び「採水予定事業場 検査野帳」を作成する。

なお、監視区分 D・T の事業場（随時立入）については、事業場毎に 1～3 年に 1 回の周期を設定するとともに、検査基準違反があった場合はその翌年度にも立入採水を実施する。

## 3. 水質基準管理

水質基準分類	概要
有害物質	下水道法施行令第 9 条の 4 第 1 項に掲げるもののうち、水質汚濁防止法施行令第 2 条に掲げるもの
一律環境項目	下水道法施行令第 9 条の 4 第 1 項に掲げるもののうち、上記の有害物質を除くもの
条例項目	仙台市下水道条例第 10 条第 1 項各号に掲げる項目並びに、第 10 条の 2 第 1 項第 1 号及び第 4 号に掲げるもの

#### 4. 行政指導について

##### (1) 概要

水質検査結果に応じた違反点数を事業場毎に算出・集計し、累積違反点数に応じた行政文書を発行する。

ただし、施設分類「T」の事業場（10条ただし書適用事業場）は対象外とする。

##### (2) 違反点数基準

違反点数 違反項目	1点	2点	3点	4点
水質項目種別	条例項目	一律環境項目	有害物質	—
水質基準	2倍未満	2倍以上 2.5倍未満	2.5倍以上 3倍未満	3倍以上
項目数	2項目	3項目	4項目	5項目以上

※1 複数の項目が含まれる場合は、点数の高い方の水質項目種別及び水質基準を適用する。

※2 水素イオン濃度及び温度に係る水質基準違反は、数値に関係なく違反点数を1点とする。

※3 2回目以降の違反については、前回分の違反点数を加算する。

##### (3) 違反点数集計方法

行政指導は違反点数の累積に応じて実施する。累積点数は、行政指導を行った日より1年以上違反がない場合、その後に生じた水質基準違反は、初めての違反として取り扱うものとする。

##### (4) 指導文書

違反点 区分		1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～
A	A1	注意書	警告書			法第 37 条の 2 による措置	
	A2						
B	B1	注意書	警告書			法第 38 条第 1 項による措置	
	B2						
	B3						
C		注意書			警告書		同上
D		なし					
T		なし					

※緊急その他やむを得ない理由があると認められた場合は、この基準の適用を軽減又は免除することができるものとする。

以上